

熊本地震支援第2班活動報告書

標題の件につき下記の通りご報告いたします。

記

- ① 日時 4月18(月)～19日(火)
- ② 参加者 青木 浩朗(つつみ薬局)、水元 俊二郎(スイゲン調剤)、
橋本 勝史(つばめファーマシー)、木山 允(くどみ薬局)
- ③ 支援先避難所 阿蘇熊本空港ホテル エミナース
〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2071-1
TEL 096-286-111
- ④ 行程 18日 6:00 宮崎県薬剤師会館に青木を除く3名が集合
6:10 出発⇒下道にて小林ICに移動
7:20 小林ICにて青木合流⇒高速にて移動開始
9:20 八代IC降りてすぐに給油
11:20 熊本県薬剤師会館に到着
11:50 第1班と引き継ぎ
12:20 熊本県薬剤師会館を出発
12:50 エミナース到着、JMATと合流
13:00 打ち合わせ、支援業務開始
14:30 水元、橋本 広安西小学校へ支援のため急遽移動
17:30 JMAT移動 薬剤師のみで夜間対応
20:00 水元、橋本が一時合流
19日 6:00 各自朝食
8:30 広安西小学校組が移動
11:30 広島県薬剤師会モバイルファーマシー到着(薬剤師3名)
11:50 DMAT、第3班到着 広島の薬剤師、第3班と引き継ぎ
12:00 JMAT(?)到着
12:30 引き継ぎを終了し、広安西小学校に移動
12:50 水元、橋本と合流
13:20 第2班 熊本県薬剤師会館へ移動開始
14:00 熊本県薬剤師会館にて終了報告
18:40 宮崎県薬剤師会館 着

- ⑤ 到着時の医薬品 バイスピリン、セルシン（２）、カロナール（２００）
デパス（０．５）、ロキソマリン、ロペミン、
ユナシン（３７５）、ファモチジンＤ（２０）、
ブロムヘキシン、テプレノンカプセル、オロパタジン（５）
SP トローチ
（すべてモバイルファーマシーの薬だったようです）
- ⑥ 到着後の注文品 アイミクスHD、コニール（４）、メバロチン（５）、プルゼニド
マグミット（３３０）、フロモックス錠、アムロジピンOD（２．５）
ディオバン（４０）、フスタゾール錠、PL 顆粒、幼児用PL
クラビット（５００）、カロナール（３００）、ビオフェルミン錠
フェキソフェナジン（６０）、ニトロペン舌下錠
ゲンタシン軟膏、リンデロンVG軟膏、オイラックス軟膏
セルタッチパップ（７０）、モーラステープ（２０）
メプチンエアー、ホクナリンテープ（１）（０．５）
※注文はすべて富田薬品（配送時間：18日は5～6時間。19日は3時間程度）
- ⑦ OTC 到着時は0。その後、ホテルの常備薬を入手
（総合感冒薬２種類、サロンパス、モーラスL40、胃薬など）
19日、モバイルファーマシーから大量のOTCを提供される。
返却は不要とのことで、とくに分譲などの手続きはなし。
OTCは最終的に充実。
（総合感冒薬数種類、正露丸、胃薬、エアーサロンパス、包帯、
テーピング、イブなど）
- ⑧ 業務内容 医薬品等の手配。そして医師がいるときは災害処方せんを取り扱う。
薬剤師のみのときは、症状に応じて医療用医薬品またはOTCで対応
慢性疾患や精神疾患、外科的な治療を要するもの場合は、近隣の病院が再開し始めてき
ていたので、受診するよう勧奨。
- ⑨ 持参品 ・アセスメントシート
・OTC（総合感冒薬、痛み止め、湿布、胃薬）
・医療用医薬品（解熱鎮痛剤、抗生剤）
最低でも上記のものは初期支援の段階で持参したほうが、DMATや
JMATがいなくても薬剤師業務が可能となる。
また、サインペンやメモ帳、ポストイット、セロテープも、情報を
整理するために必要であると感じた。

以上